

今週のことば「十字架」

《聖書》マルコによる福音書 8:27-35

メシアへの期待

メシアは、ヘブライ語で、油そそがれ
た者という意味です。これがギリシヤ語
になると、キリストと訳されます。ペト
ロは信仰告白で、イエスがメシアである
と言います。しかし、それに対してイエ
スは沈黙を命じます。イエスはしばしば
病人をいやしたあとで、このことを誰に
も言うなと言いますし、悪魔つきがイエ
スのことを呼ぶと、この人にも沈黙を命
じます。問題は、イエスがメシアだと言
っても、それがどういう意味で語られた
かということです。

イエスの時代の人たちがメシアに期待
していたのは、イスラエルの民がバビロ
ニアへの捕囚という苦しい状態から解放
されて、ふたたびもとの土地に帰ってき
たにもかかわらず、ローマとかの大國の
支配の下に置かれていて、自分たちの独
立の国を建てることができなかつたので、
こうした状態から救われることだったの
です。だから、メシアは政治的な力をも
ってローマの國に打ち勝ち、自分たちの
王として世界に君臨すると考えていまし
た。イエスに従った弟子たちの中にも、
このような期待を持っていた人がいたこ

とはあきらかです。

十字架を背負う

イエスがペトロに対してしかつたのは、
ペトロが自ら十字架を背負おうとしな
かつたからです。ペトロも、はじめのうち
は自分で努力することよりも、イエスが
何かをしてくれることを期待していたに
違ひありません。もしそのような気持ち
でいるなら、たとえイエスがメシアだと
告白しても、その答えが正しくても、イ
エスから非難されることになるのです。
イエスの沈黙の命令は、十字架を背負っ
て従おうとしないかぎり、イエスについ
て言う資格がないことをはっきりと断言
した言葉と考えられます。

弟子はイエスのあとに従って、イエス
と同じように自分の十字架を背負わなけ
ればなりません。自分の努力なしに神に
より頼むことは、自分勝手な信仰でしか
ありません。日本人はわりと苦しい時の
神だのみ式の信仰を持つ人が多いので、
救いの言葉にはよく耳をかたむけますが、
十字架を背負うという言葉には耳をか
しません。それでは自分の都合のよいこと
だけを取り入れているだけになりますか
ら、イエスの弟子にふさわしくありませ
ん。

年間第24主日B年 (滝野)